

奈良の土地改良

発行：令和6年4月
奈良県土地改良事業団体連合会
奈良県橿原市城殿町459番地
TEL0744-29-1310
FAX0744-29-1312
<https://www.naradoren.or.jp>



未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展2023【ヤンマーアグリ賞】
「稲刈りをする父」宇陀市立大宇陀小学校 6年生 榎田 佳音 さん

※学年は受賞当時
関連記事P19

目次	1. ご挨拶 奈良県土地改良事業団体連合会 会長 奥野 信亮	1
	2. 「なら水土里ネット女性の会」を設立！	2
	3. 第64回通常総会 開催	3
	4. 令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催	4
	5. 公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催	
	6. 公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式	5
	7. 10年後の水土里ネットを考える近畿女性交流会	7
	8. 令和5年度 換地計画実務研修 開催	8
	9. 災害実務等研修会 開催	
	10. 公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催	9
	11. 全国水土里ネット表彰式	10
	12. 全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県	
	13. 『農村振興シンポジウム』が開催されました。	11
	14. 令和6年度 奈良県農村振興予算の概要	13
	15. 事業紹介 一農地中間管理機構関連農地整備事業「百済川向地区」一	15
	16. 国営施設応急対策事業 五条吉野地区が完工！/「五条吉野地区」の概要	17
	17. 「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」校内授与式	19
	18. 令和6年能登半島地震に係る職員派遣について	20
	19. 令和6年度 新組織体制 / 土地改良に関する法律相談	21
	20. 新規採用職員・退職者のご紹介	22

ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会

会長 奥野信亮



会員の皆様におかれましては、日頃から当連合会の業務運営にご理解、ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

はじめに元旦に発生しました能登半島地震で犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りしますとともに、被災された全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

被災地域の土地改良区、土地改良施設等への支援のため、多くの会員土地改良区の皆様からお預かりましたご芳志につきましては、過日、全国連合会を通じて石川県土連に贈呈することができました。改めましてご協力いただいた会員皆様に感謝申し上げます。なお、早期復旧に向け、当連合会の職員2名を2週間、被災地に派遣しましたが、今後も引き続き、被災地支援に取り組んでまいりたいと考えております。

近年は台風や集中豪雨による災害が激甚化、頻発化する傾向にあり、地震を含めた自然災害への備えを一層強化する必要がありますので、老朽化した水利施設の更新整備や耐震化の促進に向け、当連合会としても体制強化を図ってまいり所存です。

令和6年度の国の土地改良関係予算につきましては、昨年末の補正予算と合わせて6,240億円（対前年比101.7%）を確保することが出来ました。今後とも会員皆様のご要請に応じ、農業農村の振興のため一層の予算確保と施策・制度の充実に向け、私も全力で取り組んでまいります。

また、農政の憲法である食料・農業・農村基本法は、平成11年の制定以来25年が経過し、この間の国内外の情勢変化を踏まえ、本年は抜本的な改正を予定しています。食料安全保障の確保をはじめ、農業の持続的発展のための生産性向上や農村地域社会の維持を図るための改正であり、改正法に基づく農業農村の将来を切り拓く施策が一日も早く実施できますよう、関連法の改正も含め早期の成立に努力しております。

ところで今年度は、当連合会では2人目となる女性理事が就任いたしました。また、3月14日には土地改良に関わる女性がお互いの交流を通じて、女性の活躍する場を拡げることを目的に「なら水土里ネット女性の会」を設立いたしました。女性の参画により新たな発想による仕組みや環境づくりが進み、女性や高齢者を含む多様な人材が活躍する場が広がれば、農業農村の更なる成長発展に繋がると期待しています。会員土地改良区におかれましても、女性理事の割合10%以上という目標達成に向けて一層ご努力いただきますようお願い申し上げます。

さて、全国の土地改良関係者が一堂に会する「全国土地改良大会」を本県で開催すべく誘致を進めてまいりましたが、3月に開催された全国土地改良連合会理事会において、令和8年度の本県開催が承認されました。本年度から当連合会に全国大会準備室を設置しましたが、奈良県大会の成功に向けては、本県土地改良関係者が一丸となって取り組んで行くことが不可欠ですので、是非とも会員皆様におかれましてもご理解を下さり、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしますとともに、皆様が取り組む土地改良事業が円滑に推進され農業農村地域が一層発展しますようお祈り申し上げご挨拶いたします。

「なら水土里ネット女性の会」を設立！



令和6年3月14日(木)、大和平野土地改良区3階 大会議室において「なら水土里ネット女性の会」設立総会を開催しました。

総会には土地改良区女性理事・職員、土連職員等 女性18名が出席し、最初に発起人を代表して奈良県土地改良事業団体連合会奥野信亮会長が挨拶を行いました。



続いて、来賓の近畿農政局 佐竹健次 次長、奈良県食と農の振興部長谷川憲生 次長よりご祝辞をいただきました。また、全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員からはビデオメッセージによりご祝辞を頂戴しました。

議事に先立ち、奈良県土地改良事業団体連合会上田美加子理事が設立趣意書を朗読し、続いて「規約の制定」、「役員を選任」が行われて「なら水土里ネット女性の会」が設立しました。



【設立趣意書】

これまで土地改良は、ほとんど男性により取り組まれてきました。男女が共同で活躍することにより、今までは気付かなかった新しい制度や快適な環境づくりが進む好循環も生み出されることが期待されています。意思決定に多様な人たちが参画することは、新たな展開への可能性を秘めています。その為には、女性ならではの視点や行動力でその大切さを広め、ネットワークをつくり、女性の活躍する環境づくりが必要と考えられます。

そこで、県内の土地改良分野で活躍している女性や、活動目的に賛同していただける農業農村整備に関心のある女性が集う「なら水土里ネット女性の会」を立ち上げることとしました。

この女性の会は、会員が交流する中で親睦を深めながらお互いを高め合い、自らも研鑽するとともに、女性の活躍の場を広げる環境づくりなどに取り組んでいきたいと考えております。

どうか皆様のご理解をいただくとともに、本会設立のご賛同を切にお願いします。



なら水土里ネット女性の会 役員名簿
 会長 上田美加子
 (奈良県土地改良事業団体連合会理事)
 副会長 黒瀬礼子
 (奈良県農業振興功績者表彰受賞者会副会長)
 副会長 南 朱美
 (奈良県土地改良事業団体連合会総務企画課係長)
 任期：令和6年3月14日～令和8年3月31日

その後、全国土地改良事業団体連合会 総務部 明嵐(めあらし)有紀 主任より「全国の水土里ネット女性の会の状況について」ご講演いただきました。

最後に、黒瀬礼子 副会長が閉会挨拶を行いました。



奈良県土地改良事業団体連合会 上田美加子理事



講演
 全国水土里ネット
 総務部 明嵐有紀 主査



JA奈良県女性部 西田有紀子 部長



なら農業委員会女性委員の会 壺井和子 会長

閉会後は、出席した女性全員による自己紹介や昼食会を行い、出席した男性を含め、お互いに情報交換するなど会話がはずみ、和気あいあいの雰囲気の中で交流することができ、大変有意義な場となりました。

これを契機として、県内の土地改良分野で活躍している女性や、農業農村整備に関心のある女性の親睦、情報交流を深め、女性の活躍の場を広げていきたいと思っております。

(賛同頂ける男性役職員も含め) 多くの方のご参画をお待ちしています。

第64回通常総会 開催

令和6年3月23日(土)、大和平野土地改良区 大会議室において、90人の出席（当日出席46会員、委任状44会員）を得て、第64回通常総会を開催しました。

はじめに、奥野 信亮 会長から、総会にお集まりいただいたお礼と、総会の議案について慎重審議をお願いしたいとの挨拶がありました。

近畿農政局 佐竹健次 次長が農業農村整備事業をはじめ、近畿農政局所管への支援・協力や能登半島地震の派遣協力に対するお礼を述べられました。続いて奈良県食と農の振興部 乾 新弥 部長が、奈良県の農業農村整備事業の推進や農村事業の活性化に対する取り組みの支援に対するお礼を述べられるとともに、引き続き県と市町村、土地改良区、土連との連携、協力、支援をお願いしたいとの言葉がありました。

議事では、上田議長(大和郡山市長)の下、令和4年度事業報告、収支決算や令和6年度事業計画、収支予算などが審議された他、連合会の運営に幅広い意見を取り入れるため理事の要件緩和する定款の一部変更について、審議が行われ、全ての議案について原案通り承認を得ました。

その後、補欠役員を推薦するための詮衡委員会を開催し、推薦を受けた堀内大造 大和高田市市長、亀田忠彦 橿原市長、黒瀬礼子 植村牧場代表取締役の3名の理事選任が承認されました。



挨拶
奥野 信亮 会長

写真（左から）
堀内大造 大和高田市市長
亀田忠彦 橿原市長
黒瀬礼子 植村牧場代表取締役



役職名	氏名	その他の役職	備考
会長	奥野 信亮	学識経験者、衆議院議員	
副会長	上田 清	大和郡山市長	
副会長	中筋 弘	西和土地改良区理事長	
常務理事	菅谷 義寛	学識経験者	
理事	堀内 大造	大和高田市市長	新任
理事	並河 健	天理市長	
理事	亀田 忠彦	橿原市長	新任
理事	松井 正剛	桜井市長	
理事	芝田 秀数	曾爾村長	
理事	森川 裕一	明日香村長	
理事	山村 吉由	広陵町長	
理事	金澤 秀樹	大和平野土地改良区理事長	
理事	下村 雅清	大和高原北部土地改良区理事長	
理事	上田 美加子	学識経験者	
理事	黒瀬 礼子	学識経験者	新任
総括監事	東川 裕	御所市長	
監事	永田 正利	学識経験者	
監事	大倉 康至	倉橋溜池土地改良区理事長	

※任期は令和7年3月31日まで



祝辞

佐竹健次 近畿農政局次長



祝辞

乾 新弥 奈良県食と農の振興部長



上田 清 大和郡山市長



井上源一
詮衡委員会委員長
(大和高原南部土地改良区理事長)

令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催

令和6年2月19日(月)、大和平野土地改良区3階 理事会室において、令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。上田議長（大和郡山市長）の下、各議案が審議され、全て原案通りに可決されました。

また、議案審議の後、この度の能登半島地震の復旧・復興支援として1月29日～2月9日まで職員2名を派遣しましたが、現地の被災状況や支援活動にかかる報告が技術課今西参与より行われました。

議 事

- 第1号議案 令和5年度会計収支補正予算の専決について
- 第2号議案 令和6年度事業計画について
- 第3号議案 令和6年度経費の賦課徴収について
- 第4号議案 令和6年度会計収支予算について
- 第5号議案 令和6年度役員報酬について
- 第6号議案 令和6年度一時借入金の限度額及び借入方法について
- 第7号議案 令和6年度金銭の預入先について
- 第8号議案 第64回通常総会の開催について
- 第9号議案 定款の一部変更について



来賓祝辞 長谷川 憲生
奈良県 食と農の振興部 次長



能登半島派遣報告
奈良土連 技術課 参与
今西敏文

公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催

令和6年2月19日(月)、大和平野土地改良区3階 第5会議室において、令和5年度 公益財団法人 農業振興会館 理事会 及び 農業振興功績者表彰審査会が開催されました。

理事会に先立ち行われた審査会においては、小菊生産の効率化や技術開発に取り組むとともに、出荷一元化の体制確立に尽力し「平群の小菊」のブランド形成に大きく貢献した平群町の中尾佳照さんが農業振興功績大賞に、

また、有機農業に取り組む農家が消費者に直接対面販売できる場を創出し農家と消費者に加え飲食店等 多様な人々の交流促進や新規就農者の育成、農地有効活用に貢献した団体「明日香ビオマルシェ」が農業振興功績賞に選出されました。（P5-6に関連記事）

また、理事会では、下記の4議案の審議が行われ、全ての議案が可決承認され、令和6年度も引き続き、自立できる農業と活力ある農村の建設に資するため顕彰(農業振興功績者表彰)事業はじめ、研修(美アップ農村・レディセミナー、最先端農業を学ぶセミナー)事業を開催することが確認されました。

議 事

- 第1号議案 令和5年度農業振興功績者表彰について
- 第2号議案 令和5年度寄付の申し入れの承認について
- 第3号議案 令和6年度事業計画並びに会計収支予算について
- 第4号議案 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて



公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式

令和6年3月23日(土)、奈良県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会に引き続いて、公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式を開催しました。



令和5年度 農業振興功績者表彰 受賞者

◆ 農業振興功績大賞 ◆

平群町 中尾佳照 様

◆ 農業振興功績賞 ◆

明日香村 明日香バイオマルシェ 様

上段 左から

黒瀬受賞者会副会長
中筋副会長
東口受賞者会会長
西畑農業共済組合長
中津奈良県農協会長
増井農業会議長
福井副理事長
井上受賞者会顧問
大倉受賞者会副会長
長谷川県食と農次長
菅谷常務理事

中段 左から

大本所長
木谷三郷町長
堀内大和高田市市長
松井桜井市長
上田大和郡山市市長
東川御所市長
山村広陵町長
亀田橿原市長
福岡香芝市長
乾県食と農部長

下段 左から

西脇平群町長
中尾氏
奥野理事長
村井副知事
樽井氏
(明日香バイオマルシェ)
森川明日香村長



奥野理事長挨拶



来賓祝辞 村井副知事



受賞者 体験発表
中尾佳照氏



表彰状授与の様子
明日香バイオマルシェ 樽井代表

この功績者表彰は、農業に対する研究、開発に努力し、それらの普及に尽力したものの、また、地域農業の振興、地域資源の活用、農地の有効利用等により、活力ある農村の建設に貢献するなど、その功績が大きいと認められた方々にお贈りしています。令和5年度で34回を迎えました。

農業振興功績大賞

中尾 佳照 様 (平群町)

27歳の時に先代から小菊生産を引き継ぎ、栽培効率化につながる技術開発・導入を積極的に行い、規模を年々拡大。夏秋期小菊生産量日本一となる平群の小菊ブランド形成に貢献。

「西和花卉部会」の役員として、関係機関・市場と連携し、出荷体制の構築や低温貯留庫の整備等に尽力し、生産者は生産に専念、販売はJ Aという完全分業体制を実現させ、有利販売と労働環境の改善につなげた。

消毒作業の効率化を図る為、改良型T字型噴口をJ Aと一緒に開発し、労力負担の軽減、作業時間の大幅な短縮に加えて使用薬剤量の低減に成功した。

全国に先駆けて盆出荷用の電照栽培に取り組み、盆需要期の安定出荷による有利販売に貢献。環境面にも配慮し、当初の白熱灯から

現在は消費電力の少ないLEDを普及さ

せた。また、電照を用いた端境期の施設栽培や簡易ネット被覆法による害虫防除などの先進技術に積極的に取り組むとともに、重量選別機や畝立てマルチャーなどの省力化、機械導入を進め、産地の発展に寄与した。



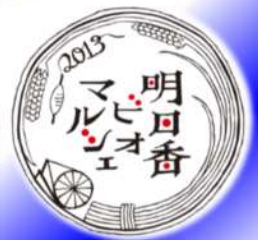
農業振興功績賞

明日香ビオマルシェ 様 (明日香村)

明日香村への移住者が発起人となり、明日香村を中心に野菜、米、鶏卵等の有機農業に取り組む生産者や飲食店事業者など8名が平成24年に「明日香ビオマルシェ」をスタート。現在構成メンバーが32名になり、年々取り組みが拡大している。直接消費者に対面販売することで、市場で価格が左右されることなく、販売したい金額で販売するフェアトレードが実現。新規就農者の育成や農地の有効活用にも寄与するとともに、有機食材を扱う飲食店や加工業者等の安定的な仕入れに寄与するなど、多様な人々の交流促進に貢献している。

令和2年より、「あすか夢の楽市(直売所)」内にビオマルシェ商品の常設売り場を設置。国営飛鳥歴史公園と連携した「田植え祭り」や「古代米を愛でる会」などの公園内の農地を活用したイベントを開催。中学校の課外活動として、年5回の「古代米プロジェクト」プログラムを実施。

令和3年、明日香村で農を楽しむ・学ぶ・食べる、食の大切さ、農ある暮らしの豊かさを伝える為の農業倶楽部「イチカマナマデ」を飲食店経営企業と連携して立ち上げる。

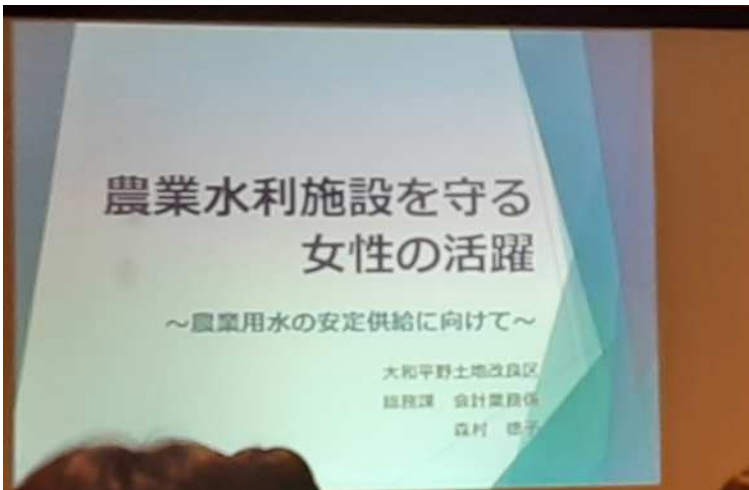


10年後の水土里ネットを考える近畿女性交流会

令和6年2月20日(火)、京都ガーデンパレスにおいて、近畿農政局の主催による「10年後の水土里ネットを考える近畿女性交流会」が近畿で初めて開催されました。奈良県内改良区から大和平野土地改良区3名、水土里ネット奈良から、上田美加子理事他3名が参加しました。始めに、近畿農政局 安東局長が挨拶され、近畿農政局 前田地方参事官より交流会の趣旨説明がありました。基調講演として、熊本土連 西課長（全国水土里ネット女性の会副会長）が「誰もがはたらきやすい水土里ネットを目指して」と題してくまもと水土里ネット女性の会の取り組み等について話がありました。女性活躍に係る先進的取組事例紹介では、兵庫県・奈良県の土地改良区による発表が行われた後グループワークに入り『10年後の水土里ネットを見据えた女性が活躍できる環境づくり等』について意見交換が行われ、全体での意見とりまとめが行われました。

最後に、奈良県土地改良事業団体連合会 上田理事より、閉会の挨拶があり、今後のネットワーク拡大のためのいい機会を設けて頂いたとお礼を述べられました。

女性活躍に係る先進的取組事例紹介



○大和平野土地改良区の事例紹介がありました○

「農業水利施設を守る女性の活躍」
大和平野土地改良区
森村 徳子 総務課主事
南 依里 事業課主事



グループワーク

女性目線からみた現状の課題と10年後にそれらの課題がどのように変わっているか。また、10年後の水土里ネットの構築に向けて最初にどのような取り組みが望ましいか。府県を超えた女性役職員のネットワークについて話し合いました。改良区・府県・土連等の意見交換ができ、今後も府県を超えたネットワークを強化する取組が必要だと感じました。



令和5年度 換地計画実務研修 開催

令和6年2月1日(木)大和平野土地改良区事務所3階 大会議室にて、令和5年度換地計画実務研修を開催いたしました。

講師には、近畿農政局の前田仁 地方参事官及び全国土地改良事業団体連合会中央換地センターの平木琢主任をお招きしました。

本研修は、土地改良区体制強化事業における「研修・人材育成」の一環として、換地事務の促進に資するため、新規に換地事務を担当する技術者を対象に実施するもので、前田講師より「所有者不明農地等の解消に向けた対策」、平木講師より「換地をめぐる諸情勢」について、民法をはじめ関係法令の改正などを講義に幅広く取り入れていただき、より実務に即した知識を、多くの受講者に講聴いただける内容となりました。



研修会場の様子



「所有者不明農地等解消に向けた対策について」
近畿農政局 前田 講師



「換地をめぐる諸情勢について」
中央換地センター 平木 講師

災害実務等研修会 開催

令和6年2月9日(木)、奈良県農村振興技術連盟と奈良県農業農村整備事業推進協議会との共催による令和5年度災害実務等研修会が開催されました。近年頻繁に発生する台風等による災害に対応するため、奈良県農村振興課より災害復旧事業の実施方法について、緊急時のため池点検について研修がありました。また、情報提供として奈良県土地改良事業団体連合会より能登半島地震の災害復旧の支援に参加した報告と農地地図情報システムの活用についての説明がありました。

【 内 容 】

災害実務等研修

- ① 災害復旧事業の流れ
農村振興課 主任調整員 筒井賢治
- ② 現地査定の注意点
農村振興課 主任主査 米澤里奈
- ③ 緊急時のため池点検について
農村振興課 主任主査 玉垣直子
- ④ 能登半島地震災害復旧支援について
奈良県土連 参与 今西敏文
- ⑤ 農地地図情報システムの活用について
奈良県土連 技師 堀川元気

地震や台風などの自然災害は、時として想像以上の力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで被害を少なくすることができます。自分自身の身を守るため防災対策を考えましょう。



筒井主任調整員



今西参与



米澤主任主査



堀川技師



玉垣主任主査

公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催

令和6年2月16日(金)、なら食と農の魅力創造国際大学校附属セミナーハウスにおいて、「令和5年度 最先端農業を学ぶセミナー」を、奈良県、NAFIC周辺賑わいづくり協議会、近畿大学農学部との共催により開催しました。

【午前の部】では、スマート農業に関する取組事例や最新動向等の講演、【午後の部】では農業用ドローンやリモコン草刈り機等、スマート農業関連機械の展示とプレゼンテーション・実演の後、講師と参加者によるパネルディスカッションが行われました。

約120名の参加者は講演やディスカッションに熱心に耳を傾けられるとともに、関連機械の実演を興味深く観察されていました。初めての共催という試みでしたが、スマート農業等の最新技術について、実際に「見て・聞いて・学ぶ」、有意義なセミナーとなりました。

●挨拶



農業振興会館
副理事長 福井 常夫

●講演



近畿大学農学部
山本 純之 補助研究員



奈良県東部農林振興事務所
中村 正敏 主幹



奈良県豊かな食と農の振興課
下浦 隆裕 主幹



岩手大学農学部
食料生産環境学科
飯田 俊彰 教授



東京大学大学院
農学生命科学研究科
乃田 啓吾 准教授



東京大学大学院
農学生命科学研究科
溝口 勝 教授

●スマート農業関連機器展示・実演



●パネルディスカッション



全国水土里ネット表彰式

第65回 全国土地改良功労者等表彰 全土連会長賞(個人表彰)



奈良県土地改良事業団体連合会 糸主査



西和土地改良区 林田至玄 次長

令和6年3月26日(火)、東京都千代田区シェンパツ八・サポーにおいて、「第65回全国水土里ネット表彰式」が開催されました。「全国水土里ネット表彰式」は、土地改良事業を通じ地域農業の発展に優秀な成果を収めているなど長年にわたり運営が良好である個人と団体の表彰(全国土地改良功労者等表彰)等を行うもので、奈良県からは、個人2名と1団体が全土連会長賞を受賞されました。

皆様、栄えある受賞、誠にありがとうございます。今後の益々のご発展、ご繁栄をご祈念申し上げます。

第65回 全国土地改良功労者等表彰 全土連会長賞 (団体表彰)



馬司土地改良区
(野口正博 理事長：馬司土地改良区事務所にて 当日は奈良土連 菅谷常務理事が代理受領)



全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県

宮崎雅夫参議院議員が1月11日(木)に来県し、県内各地に新年のご挨拶に回られました。限られた時間の中で、各地域の様々な意見や要望等に耳を傾けられ、精力的に意見交換をされました。



大和平野土地改良区



UEDAなっば工房



UEDAいちご工房



曲川土地改良区



多集落営農組合



奈良県花き植木農業協同組合

『農村振興シンポジウム』が開催されました。

令和6年2月14日（水）、多面的機能支払交付金事業や中山間地域等直接支払交付金事業に取り組む地域において、優れた取り組みを実践している組織の活動を模範として広く周知し、他の活動組織の参考にしていただき、活動の質的向上を図ることを目的として『農村振興シンポジウム』が橿原文化会館 小ホールで開催されました。

シンポジウムでは、奈良県農村振興優良組織表彰、基調講演、事例発表終了後、多面的機能支払交付金活動組織からの参加者に対し、講習会及びワークショップが行われました。



奈良県 農村振興 優良組織表彰

県内の農村地域活動優良地区として活動組織の中から阪原町環境保全向上活動組織（奈良市）、南檜垣町農村環境保全活動組織（天理市）、山陰保全管理会（五條市）の3地区が表彰されました。



阪原町環境保全向上活動組織

県食と農の振興部 乾 部長

南檜垣町農村環境保全活動組織

山陰保全管理会

阪原町環境保全向上活動組織（奈良市）

営農組合を中心に集落一丸となり、年9回の基礎活動や都市との交流を図るため、毎年10月に「コスモス祭」の開催や営農組合女子部による加工品開発にも取り組んでいます。

南檜垣町農村環境保全活動組織（天理市）

法人化された営農組合が参画し、都市との交流を図るため毎週土曜日に「朝市」を開催するとともに年末には、しめ縄づくり体験を実施しています。

山陰保全管理会（五條市）

農地中間管理機構を活用し、95%の農地を担い手へ集積。農村環境保全のため、農道周辺への植栽や集落内の世代間交流を図るため「収穫祭」などの様々な行事を実施しています。



事例発表

令和4年度（昨年度）優良組織表彰地区による各地域の活動状況について発表されました。



田原ふる里環境保全向上活動協議会（奈良市）

奈良市田原地域の19集落がひとつの組織として活動され、活動当初から広域化に取り組み、「中山間直接支払制度」においても、集落機能強化加算に取り組み組織の強化に向けた活動をしています。



多集落を守り美しい村づくり隊（田原本町）

田植えや稲刈り体験など、都市農村交流活動を積極的に行い、婦人部による伝統料理の継承や、6次産業化を目指して地元で収穫した米や小麦を使用した加工品の販売も行っています。



桐山地域環境保全連合会（宇陀市）

遊休農地解消に向け、そばを栽培し、美しい田園風景の景観形成を行うとともに収穫したそばは、地域行事においてそば打ちし、住民に振る舞うなど、農村環境の向上に向けた取り組みを積極的に行っています。



多面的機能支払交付金活動組織講習会

①『用水路の補修工法について』

インフラ保全技術協会 ヘルテクス株式会社 メンテナンス営業部 技術チームリーダー
岡井 貴洋氏

水路のコンクリート表面が摩耗したり、風化したような状況や、ひび割れ、コンクリートの目地上の止水板がずれたり様々な劣化がある。放置しておく最終的に構造物として機能しなくなる。どういった劣化になってくるのかといったところから原因を突き止めてそのものにあった処置が必要。多面的支払交付金でも活用できる工法として「ジョイントリペア工法」と「Hyperシンプルシート工法」の2つを紹介。



②『水門のメンテナンスと更新』

日本自動機工株式会社 営業工事部 次長 田尻 哲也氏

身近な3種類のゲート（引き上げ式・油圧転倒式・ゴム引布製起伏堰）の説明とメンテナンスのポイントとして、特殊な部分もあるが基本的には、ゴムなら車のタイヤ、鉄ならさびる材質である農機具と同じような目線で見ればいいと話があり、

- ・ネジの部分は定期的に清掃、グリスアップをする。
- ・エンジンは、燃料の劣化もあるので使わない時も空運転する。
- ・月1回程度の開閉動作や起立・倒伏操作を行っている施設は長持ちしている。逆に動かしていない施設の老朽化は早くなる。
- ・メーカーに相談し、点検を依頼する。

プロの目線で何年かに一度見ることは非常に重要！そうすることで次世代にまで繋げていってほしい。



基調講演 『農村のシニア世代に伝えたいこと ～田舎生まれの農村地域研究者として～』

奈良教育大学 准教授 河本 大地 氏

『農村は、人が手を加え続けてきてその景観が維持されているという感覚が意外と共有されていない。』

『農村、田舎の面白さが社会に共有され、その中で苦悩や努力を知ってもらえたら、農村ファンを増やしていける。』

これからの世代は、人口減少しか経験しない世代になっていく。江戸時代の後半と同じくらいの人口に近づいていく中、当時との違いは、①地理的な人口分布（農村人口の割合が多かった）②グローバル化③高齢化である。農村の方が先じて人口減少や高齢化を経験している。日本全体がそうなる中で、ノウハウを農村が持っているという見方もできる。

田舎と言うことを誇らしく思い、楽しんでいる大人が少ないのではないか。自然の中で暮らしているメリットとは土地に根ざしていることなのではないか。日本全体がそうなる中で、ノウハウを農村が持っているという見方もできる。

世界中が自然の中で暮らすようになり、自然を意識するようになったら、もっと地球人類が変わっていくという話等、河本講師のテンポの良い話を熱心に聞き入りました。



講演終了後のワークショップ
「地域の悩みや楽しみを語り合おう！」



河本 大地 氏
奈良教育大学 准教授

岡山県建部町出身。2007年に広島大学院文学研究科博士課程後期修了。神戸夙川学院大学観光文学部講師および准教授を経て、2015年から奈良教育大学准教授。地理学、世界・日本の農山村地域研究、観光・地域振興、ESD。地域多様性をいかした社会づくりに関心を持ち、地域づくり、観光、ジオパーク、有機農業、ESD（持続可能な開発のための教育、持続発展教育）などに関する実践的な研究活動を行っている。

令和6年度 奈良県農村振興予算の概要

特定農業振興ゾーンをはじめとする農地活用と、防災・減災対策や農村地域づくりによる豊かな農村の振興を図る

令和6年度 予算額

令和6年度当初 2,487(2,516)百万円
 令和5年度12月補正 1,041(1,128)百万円
 合計 3,528(3,644)百万円
 【公共事業】
 ・補助公共事業 1,305(1,424)百万円
 [12月補正1,041百万円]
 ・県単独公共事業 120(120)百万円
 ・直轄事業負担金 228(183)百万円

※()前年度、[] 12月補正

食農部 農村振興課

主要な対策

■ 1. 特定農業振興ゾーンの整備

398(271)百万円 [193百万円]

各ゾーンの目標達成のために、高収益作物の導入、スマート農業や新技術活用などあわせ、ほ場整備や用排水路整備など、必要な基盤整備を県が事業主体となり実施。



ドローンによる農業散布試験 (百済川向地区・広陵町)

■ 2. 主要産地（リーディング品目など）の発展

364(443)百万円 [116百万円]

柿（五條吉野地区）、茶（大和高原北部地区）、高原野菜（大和高原南部地区）、小菊（西和地区）などの主要産地を、時代のニーズにあった営農に対応と、さらなる発展のため農地、農業用施設の更新整備を実施。



自動かん水制御システム導入試験 (五條吉野地区)

■ 3. 農村地域の防災・減災対策

396(562)百万円 [824百万円]

防災重点ため池（県内971箇所）を対象に、劣化調査や改修整備と併せ管理体制の支援を実施。

河川部局と連携し、ため池改修工事にあわせて治水容量を確保することで、流域治水に寄与。

治水上問題がある井堰を改修し流下能力を確保。

■ 4. 農業用水利施設の長寿命化対策

375(341)百万円 [12百万円]

老朽化により営農に影響を来している農業用井堰の更新を計画的に実施。

吉野川分水や一の木ダムなど基幹水利施設を、長寿命化対策によりライフサイクルコストを低減。

先人が築いた貴重な財産を後世に受け継ぐ取組を実施。

■ 5. 魅力ある農村地域づくり 578(578)百万円

日本型直接支払制度、ふるさと水と土保全基金などを活用し、地域の活動組織を支援。地域計画の策定、6次産業化や都市農村交流等により、魅力ある農村づくりを推進。

主な取組

○県営ほ場整備事業 138百万円 [172百万円]

百済川向地区（広陵町）20.8ha、丹原地区（五條市）10.8ha
 （実施内容）区画整理、用排水路、農道整備、高収益作物導入施設など

○県営畑地帯総合整備事業 259百万円 [21百万円]

法貴寺地区（田原本町）38.0ha、伊那佐東部地区（宇陀市）25.8ha
 上庄・梨本地区（平群町）18.0ha、八田地区（田原本町）9.3ha

○新 大宇陀政始北部地区（宇陀市）33.9ha

（実施内容）農業水利施設の更新、ICT水管理システムの導入など



ほ場整備による区画拡大
 （百済川向地区・広陵町）

○県営畑地帯総合整備事業 63百万円 [74百万円]

【柿】栢原地区（下市町）71.2ha
 （実施内容）パイプライン整備による用水供給
 【高原野菜など】

大和高原南部地区（宇陀市・桜井市）85.7ha
 （実施内容）貯水池やポンプの改修整備

○基幹水利施設管理事業 46百万円

大和高原北部地区、五条吉野地区

○県営一般農道整備事業 137百万円

大野向渕地区（宇陀市）
 西吉野賀北地区（五條市）

○県営ほ場整備事業 78百万円 [42百万円]

北村地区（奈良市）



給水スタンドの設置
 （湯塩地区・五條市）

○県営防災対策事業 104百万円 [256百万円]

葛城山麓地区（葛城市）、桜池（斑鳩町）
 高山地区（生駒市）、香芝地区（香芝市）
 尼ヶ辻地区（奈良市・河川応急）

○団体営防災対策事業 291百万円 [464百万円]

ため池整備、ため池耐震調査、劣化調査
 河川応急



ため池改修（葛城山麓地区・葛城市）

○農業水利施設整備・診断事業 147百万円 [12百万円]

農業用取水堰調査
 農業用取水堰や農業用排水路の改修

○国営農業水利管理事業費負担金 31百万円

下渕頭首工、大迫ダム、津風呂ダムの管理費負担



大迫ダム



水のつながりプロジェクト

○農村資源を活用した地域づくり事業 8百万円

○中山間地域活力アップ事業 26百万円

○多面的機能支払交付金事業 283百万円

24市町村290組織

○中山間地域等直接支払交付金事業 262百万円

14市町村302組織



農村振興シンポジウムの開催



棚田地域指定（明日香村等）

事業紹介 —農地中間管理機構関連農地整備事業「百済川向地区」—

地域の概要

百済川向地区は広陵町の南東部に位置し、条里制が残る水田を中心とした農業振興地域で、京奈和自動車道や中和幹線等の県内主要道路に近接した都市との交流に恵まれた地域となっていることから、地域の農業振興を目的とした「広陵町百済川向地区特定農業振興ゾーン」に指定され、令和2年3月23日に奈良県荒井知事、広陵町の山村町長、百済川向地区の農業振興を考える会の木虎代表は、連携及び協力に関する協定書を締結いたしました。

このことから本地区では、農業経営規模の拡大を目的とした農地の大区画化、農道の拡幅や老朽化した用排水施設の更新等を実施する農地中間管理機構関連農地整備事業（県営）を令和2年度から着手し、現在区画拡大工事を実施しています。



県営農地中間管理機構関連農地整備事業百済川向地区



本事業では、農業経営規模の拡大を目的とした農地の大区画化、農道の拡幅や老朽化した用排水施設の更新等を実施する基盤整備を現在実施中です。

また、高収益作物への転換として広陵町の特産品であるナス栽培者誘致、集落営農の組織化など基盤整備の進捗と並行して営農振興に関する活動も進めております。令和6年度からは基盤整備が完了したほ場にてナス生産者組合による減農薬・環境負荷低減を目的とした天敵農法に取り組む準備を進めております。

受益面積	21.8ha
事業費	約600百万円
事業期間	令和2年～令和8年
主要工事	区画整理工 A=21.8ha 農道工 L=3.6km

基盤整備工事について

令和5年度実施 基盤整備工事状況



現在、百済川向地区では、ほ場整備工事が最盛期を迎えています！

令和4年11月よりほ場整備工事を実施しており、令和5年11月に事業区域の北エリアが完成し、現在地域の担い手が稲作となすの作付けに向け準備を進めております。

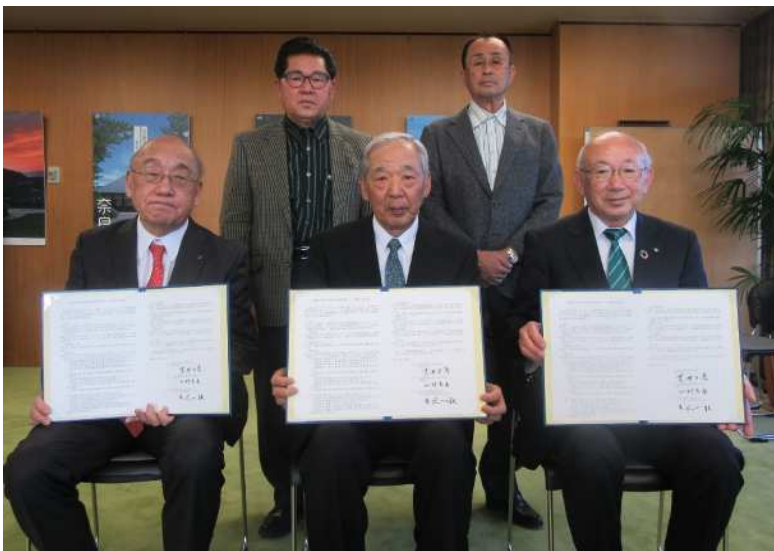
令和8年度の事業完了に向けて、事業区域の中央エリア・南エリアと、順次ほ場整備工事を進めていく計画となっております。

今後は大きくなった区画を活かした、効率的な営農が期待できます。

百済川向地区 地域との活動について

令和2年度 特定農業振興ゾーンに係る連携協定を締結

百済川向地区では、奈良県、広陵町、百済川向地区の農業振興を考える会と、地域の農業振興発展のため三者間の定期的な話し合いを実施しております。



話し合いの中心的役割を果たす「百済川向地区の農業振興を考える会」が地域の担い手や地権者の意向を聞き、課題を汲み上げ、ほ場整備をより良い形とするため活動していただいています。

また、集落営農組織・ナス生産者組合を立ち上げ地域ぐるみで営農振興を図り小麦・ナスを中心に作付けを実施していただいています。

今後は、集落営農組織のさらなる発展のため、「儲かる農業」の実現に向け生産組織強化、新たな生産手法の確立に向けて奈良県、広陵町、地域の三者が協力して事業を進めて行く計画です。

国営施設応急対策事業 五条吉野地区が完工！

令和元年からスタートした国営施設応急対策事業「五条吉野地区」が令和6年3月末で完工し、それに先立ち、令和6年1月31日(水)に事業完了報告会が五條市岡口の五條市役所大会議室で開催されました。報告会は農林水産省近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所の主催で行われ、本事業の実施と推進に携われた寺本五條吉野土地改良区理事長平岡五條市長、枚本下市町長、乾奈良県食と農の振興部長長谷川奈良県食と農の振興部次長、菅谷奈良県土地改良事業団体連合会常務理事ほか、土地改良区、関係市町、奈良県、近畿農政局の関係者、約50名の出席がありました。



「五条吉野地区」は、昭和49年度～平成13年度にかけて「国営五条吉野土地改良事業」により樹園地の農地造成と基幹的な農業水利施設である一の木ダム及び幹線用水路等が整備され、柿・うめの栽培を中心とした農業経営が展開され、全国有数の柿産地のブランドが確立されています。しかしながら事業の完了後、相当の年月が経過したため、揚水機場のポンプ設備、ダムの水管理設備等は経年劣化による機能低下が生じ、農業用水の安定供給やダムの安全管理に支障を来たしていました。このため、令和元年度から5年の工期と総事業費12億円をかけて国営施設応急対策事業により、施設の機能保全対策として幹線用水路の漏水対策、揚水機場のポンプ整備並びに電気設備の更新等が実施され、令和5年度末で事業完了を迎えることとなりました。

事業完了報告会では、はじめに主催者である 植田康成近畿農政局農村振興部長より、「国営事業の実施における関係者の皆様の御協力にあらためて感謝申しあげ、整備・更新された基幹的農業用施設が機能を発揮することで本地域がより一層の発展するよう祈念する」との式辞があり、続いて、乾新弥奈良県食と農の振興部長、事業推進協議会会長である枚本龍昭下市町長及び副会長の平岡清司五條市長よりそれぞれ祝辞がありました。



植田 近畿農政局 農村振興部長



乾 奈良県食と農の振興部長



枚本 下市町長(事業推進協議会会長)



平岡 五條市長(協議会副会長)

その後、大本修近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所長より、国営施設応急対策事業「五条吉野地区」の事業経過報告として、国営事業の経過、地域農業の特徴、事業概要、事業実施内容等について説明が行われ、また事業に携わる職員紹介が行われました。



大本 南近畿土地改良調査管理事務所 所長



寺本 五條吉野土地改良区理事長

最後に寺本保英五條吉野土地改良区理事長より、「事業実施による農業用水の安定的な供給と維持管理の低減は、全国でも有数の柿の産地である五条吉野地区の発展にさらに大きく貢献するものであります。今後も一層のご支援・御協力をお願いします」との謝辞がありました。

国営施設応急対策事業「五条吉野地区」の概要

- 事業期間 令和元年度～令和5年度
- 総事業費 1,200百万円
- 受益面積 1,593ha(樹園地1,593ha)
- 工事計画
 - ・ 一の木ダム : 水管理施設 更新 取水・放流設備 改修(電気設備、開閉装置)
 - ・ 揚水機場 : ポンプ本体 改修 電気設備 更新(8箇所)
 - ・ 幹線水路 : 水管橋部3箇所 更新(8-1号 0.3km)

一の木ダム



水管理施設(H7造成)



取水放流設備
(機側操作盤)

状況: 築造後22年が経過、水管理施設の交換部品の調達も困難。
H29には情報処理装置が一時機能停止
取水放流施設も老朽化が進む

対応 : 水管理・予備電源設備→更新
取水放流設備→電気設備更新
開閉装置部分更新

工事後



水管理施設(R3完成)

揚水機場



8号揚水機場(H11造成)



電気設備

状況: ポンプは経年劣化により錆等発生
電気設備は、耐用年数を超過

対応 : ポンプ→分解整備
電気設備→更新



8号揚水機場(R3完成)

幹線水路



清水大橋水管橋

状況: 栃原大橋、清水大橋、車谷大橋の水管橋(8-1号幹線水路)では、腐食により近年漏水が度々発生

対応: 水管橋 約300m(3箇所)更新
(材質: 鋼管→アラミドがい装ポリエチレン管)



清水大橋



漏水状況



管内腐食



栃原大橋

幹線水路水管橋部(R2完成)

「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」校内授与式

昨年度開催された「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」には、全国から3,021点の作品応募があり、その中から大臣賞等6作品、協賛企業・団体賞25作品、地域団体賞52作品、入選142作品、佳作175作品が選考されました。

奈良県内小学校からは21作品の応募があり、その中からNTC夢きり賞、ヤンマーアグリ賞、水土里ネット奈良 会長賞、の3作品が選ばれました。

後日、大和郡山市立治道小学校、宇陀市立大宇陀小学校にて、受賞者の方々へ表彰状・副賞が手渡されました。



【NTC夢きり賞】

「おじいちゃんとおばあちゃんのオクラ」

大和郡山市立治道小学校 4年生 村井 友樹 くん



村井くん

(本誌表紙掲載)



【水土里ネット奈良 会長賞】

「夕やけに立つ一本の木」

宇陀市立大宇陀小学校 3年生 岸本 雛花 さん



【ヤンマーアグリ賞】

「稲刈りをする父」

宇陀市立大宇陀小学校 6年生 榎田 佳音 さん



岸本さん

榎田さん



2024年も
たくさんの応募を
お待ちしております。

※学年は受賞当時

令和6年能登半島地震に係る職員派遣について

この度の能登半島地震によって犠牲になられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当会では、農林水産省から応援要請を受け、1月29日(月)から2月9日(金)まで石川県へ職員2名を派遣しました。全国から応援派遣された都道府県土連、関係団体、関係業界の方々と共に広域にわたる農業集落排水施設の被害状況を把握するための一次調査で、当連合会はうち3地区の管路施設調査を行いました。



・七尾市吉田地区



吉田地区は道路面のクラックなどの破損が多く、管路施設の破損は部分的であった。

・七尾市二穴地区



二穴地区は海岸沿いの集落であるため、液状化現象が見られ、マンホールの浮上や処理施設も大規模に被災していた。

・志賀町草木地区



草木地区においても液状化現象が多数見られ、マンホールの浮上や管路の破損が多く見られた。

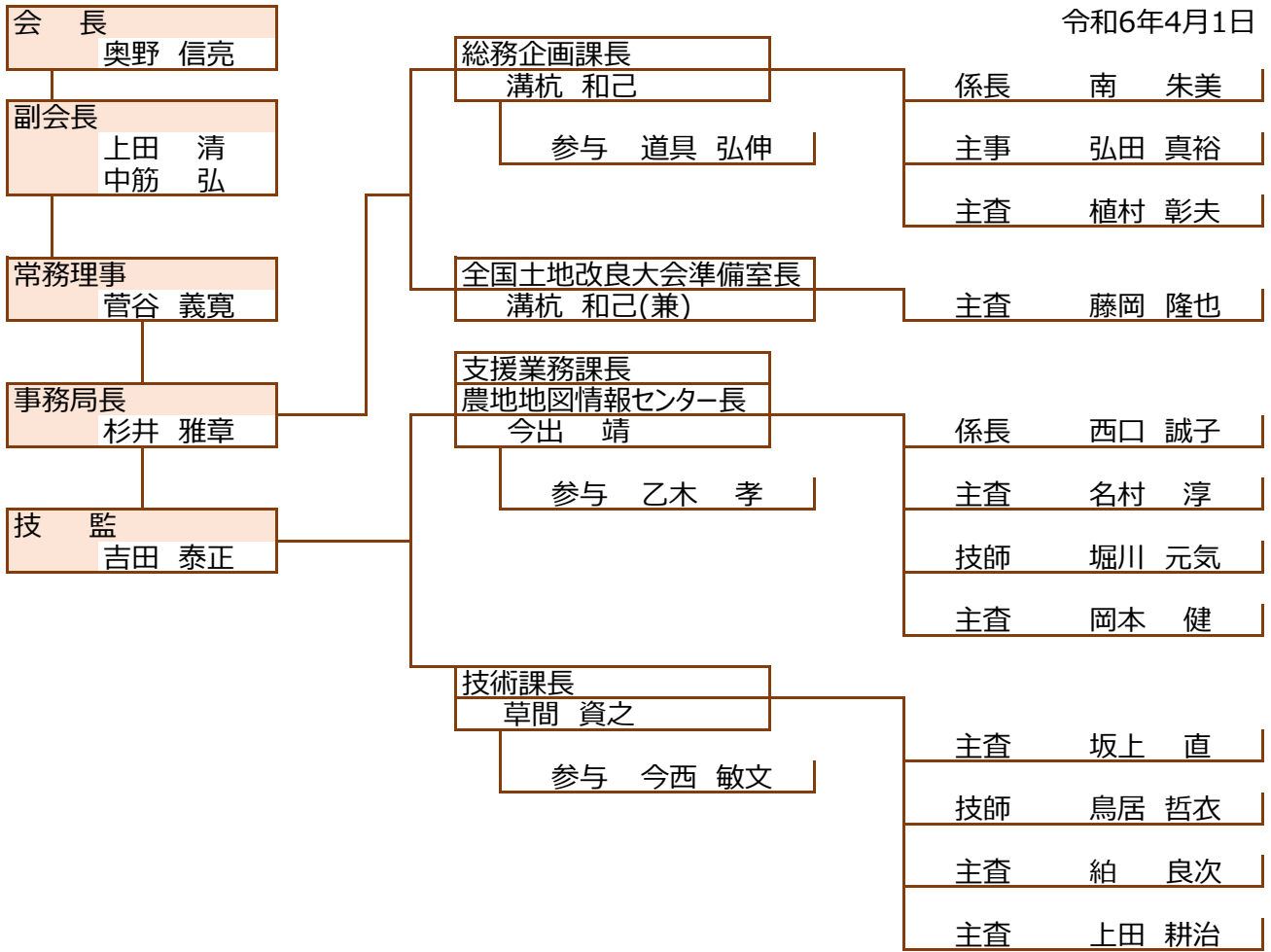
感想：私たちが調査を行ったのは一部の地区でしたが、被害は能登半島全体に及び、奥能登方面はさらに甚大な被害に遭われていると想像できます。一刻も早い復興をお祈りすると共に、今後も復興に向けた協力を行っていきたく考えています。

令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金について

令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金については、奈良県内40土地改良区から厚いご支援をいただき、支援金総額1,381,942円が集まりました。全国からの支援金とあわせて、3月26日に開催された第65回全国土地改良功労者等表彰式において、石川県土地改良事業団体連合会に贈呈されました。ご支援をいただいた皆様方に、心より厚く御礼申し上げます。

令和6年度 新組織体制

令和6年4月1日



土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる土地改良区の案件について、顧問弁護士による法律相談を行っております。

※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。

実施日： 令和6年 5月 15日 (水)
 令和6年 6月 12日 (水)
 令和6年 7月 10日 (水)
 令和6年 8月 20日 (火)
 令和6年 9月 11日 (水)

時 間： 13:30～16:30

場 所： 大和平野土地改良区事務所 3階会議室

弁護士： おおみね法律事務所 石黒 良彦 氏

(案件例)

- ・売買した土地が未登記によりトラブルが生じた
- ・越境している樹木の剪定について隣人とのトラブルが生じた
- ・土地改良施設の管理に起因して第三者に損害を与えた等

新規採用職員のご紹介

技術課
技師
とりい さとき
鳥居 哲衣



令和6年4月1日付で奈良県土地改良事業団体連合会の技術課で技師として採用されました鳥居と申します。

大学では生命科学を専攻しており、農業の基盤である土地改良事業に関わりたいと思い当連合会を志望いたしました。土木に関しての知識はないために、学ぶことばかりですが、少しでも早くお役に立てるように取り組んでまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

技監
よしだ やすまさ
吉田 泰正



令和6年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用されました、吉田 泰正です。

奈良県庁を3月に退職するまでは、農業農村整備事業や多面的機能支払交付金、農村地域づくり等に携わってまいりました。

立場は変わりましたが、会員の皆様方のご協力のもと、前職で培った技術や経験を活かし、本会での業務を通じ、奈良県の農業・農村の発展に貢献できるよう、頑張りたいと思っています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

全国土地改良大会
準備室
主査
ふじおか たかや
藤岡 隆也



令和6年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用されました藤岡隆也と申します。平成31年3月に奈良県庁を定年退職後、5年間、奈良県立医科大学内の福利厚生・サービス事業を所管する（一財）弘済会の事務局長を務めて参りました。

当連合会では、全国土地改良大会準備室に配属され、令和8年奈良大会の成功に向け、一步一步着実に進めて参りますので、会員のみなさま方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

退職者のご紹介

技術課
主査
かわい たかのり
河合 孝則



令和5年度末をもって退職いたしました。

会員、関係機関の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

●河合さんへ●

奈良県庁を退職された後、土連ではため池パトロールや資産評価業務等をご担当いただきました。ユーモアにあふれ、いつも周りの方を笑顔にされていたのが印象的です。5年間本当にお疲れ様でした。退職後のご健康とご活躍をお祈りいたします。(職員一同)

令和6年度行事予定		
開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
5月	奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会・研修会	葛城市
	公益財団法人 農業振興会館 理事会	大和平野土地改良区
	奈良県農村地域づくり協議会通常総会	大和平野土地改良区
6月10日(月)	農業農村整備の集い	東京都
6月	国予算にかかる政策提案・要望活動	東京都
	なら水土里ネット女性の会総会	-
	公益財団法人 農業振興会館 評議員会	大和平野土地改良区
7月	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・決算理事会	大和平野土地改良区
	近畿水土里ネット連合協議会による政策提案・要望活動	京都府・東京都
	奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会	大和平野土地改良区
	奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会	大和平野土地改良区
8月	土地改良区技術実践向上研修会	大和平野土地改良区
9月	奈良県土地改良区連絡協議会 総会	大和平野土地改良区
10月22日(火)	全国土地改良大会千葉大会(日程:10月21日から23日)	千葉県
11月5日(火)	農業農村整備の集い	東京都
11月	国予算に係る政策提案・要望活動	東京都
	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
	公益財団法人 農業振興会館 美アップ農村・レディセミナー	奈良ホテル
12月	公益財団法人 農業振興会館 最先端農業を学ぶセミナー	大和平野土地改良区
2月	換地計画実務研修	大和平野土地改良区
	多面的機能支払交付金研修会	-
	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
	公益財団法人 農業振興会館 理事会・功績者表彰審査会	大和平野土地改良区
3月下旬	第65回 奈良県土地改良事業団体連合会 通常総会	大和平野土地改良区
3月下旬	公益財団法人 農業振興会館 令和6年度 農業振興功績者表彰式	大和平野土地改良区
※ 今後、変更する場合があります。		

● 編集後記 ●

皆様には、「奈良の土地改良」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

また、広報誌の作成にあたり、ご協力をいただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。

今回の広報誌には、3月に設立された「なら水土里ネット女性の会」を含め、多くの会議・研修等を掲載し、盛りだくさんの内容となりました。今後もさらにバラエティに富んだ内容をご紹介できるよう、皆様のご意見もいただけると幸いです。

当会では、本年度から全国土地改良大会準備室を設け、令和8年度 全国土地改良大会奈良大会の開催に向け、準備を進めてまいります。また、新規採用職員3名を迎え、新たな気持ちで日々取り組んでいきたいと思っております。

令和6年度も引き続きよろしくお願いいたします。(編集部)